

	性別	年齢	手帳の種類	自由意見	備考
1	男性	70歳以上	身体	利用できるサービス等の手続きをどのように受けたらいいのか、分からないことがあるので、もっと詳しく記載してほしい。	
2	男性	6～11歳	知的	今年小学生になりました。知的障がいがあるため支援学校に通わせないと思ったが、車で送迎できる距離にない。清里は紋別と言われたが、7歳から親と別で暮らすことが不安だったので、地元に通わせたいと思い、清小を希望しました。清小に通えると決まるまで、不安な時期を過ごしました。でも、入学してみると色々加配してもらっていますし、楽しく通っています。斜里通園センターを利用している時は週1で見てもらって、色々相談などでできていたので、精神的にも安心でしたが、小学生になるとそういう専門の人に見てもらえないので、誰に相談していいか分からない。生まれてから大人になるまで、色々手続きや入学などの一律して相談や制度など教えてくれる部署がどこなのか、いまいち分からない。特別児童扶養手当の診断書など、普通の病院と違って予約も何箇所も先になるので大変だし、通うところも近くに近く大変です。でも、清里の人はみんな優しく色々な人に助けてもらっています。小学校も不安でしたが、今は清小に通わせてよかったと思っています。今後もっと障がい児や親もこの町に住んでいてよかったと思えるようなサービスが増えればいいな、と思います。よろしくお願いします。	
3	男性	50～59歳	身体	幸い、手帳は持っているけれど今のところ何でも自分でできるので、意見はありません。	
4	男性	70歳以上	身体	大変よくして頂き、利用したいと思っています。今後よく勉強して、利用させて頂きたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。	
5	女性	70歳以上	身体	今私は目が悪くて、あまり字がよく見えない。	
6	男性	70歳以上	-	手続きが面倒(厄介)である。	
7	男性	15～17歳	知的	「障がい者」という言葉がある時点で、障がい者差別がなくなるのだ。障がい者だからと特別扱いせず、1人の人間として接することが障がい者に対する差別や偏見をなくす方法なのではないか。保護者より～現在まで、先生、親などに助けられ、生活してきました。来年支援学校高等部卒業就職を希望しています。これから困ったこと等たくさん出てくると思います。その時にどこに相談したらよいかなどは考えてないようです(本人が)。学校卒業後の町の支援(相談など)何があるのか、不明です。卒業後の人生の方が長いので、サービスがあるなら知りたいし、ないならぜひ行ってほしいです。	
8	男性	70歳以上	身体	このアンケート調査は、様々な障がいを持つ皆さんにとって、大変意義があると思います。行政機関福祉団体の皆様、今後の障がい者計画・福祉計画に役立ててください。よろしくお願いします。	
9	-	-	知的	子どもが就学するにあたり、障がいの重さと町の支援の少なさを考え、母子で支援学校やデイサービスの利用できる所へ転出しました。私たちのような選択をしなくても、安心して地域で暮らしていけるような町になってくれることを望みます。子育て支援→教育委員会→福祉係のように役場の窓口が変わってしまうのも不安です。障がいに関わることを生涯通して相談できる窓口があると、ありがたいです。	
10	男性	50～59歳	精神	障がい者の小さな言動を理解して下さい。難病者の交通費助成金支給は大変助かっておりますので、この取り組みは小さくないでほしいです。継承願います。	
11	女性	60～69歳	身体	・介護保険を払っているのに、その介護に合ったサービスを受けられるように！ ・隣町の事業所の利用を考えてほしい。 ・24時間体制を考えてほしい。	
12	女性	60～69歳	身体	現在は家族がいて自分のことは全てできますが、年齢とともに身体等が衰えて、家族に迷惑がかかるようになった場合、福祉サービスや行政にお世話になりたいと考えています。その時はよろしくお願いしたいと思います。	
13	女性	70歳以上	身体	自分の力で生活を続けていきたい。	

	性別	年齢	手帳の種類	自由意見	備考
14	女性	70歳以上	身体	日頃お世話になり、ありがとうございます(本人)。	
15	女性	70歳以上	身体	寒冷地域に見合ったサービス(排雪サービスなど)。権利として充実してほしい。	
16	男性	70歳以上	身体	福祉入浴制度の廃止により、清里町障がい者施策で光るものがなくなった。	
17	女性	70歳以上	身体	一人暮らしで不安は残りますが、町内に義弟妹がいるので、いつも心配してくれています。	
18	女性	60～69歳	-	私は身体的な障がいではないので、今の段階では意見はありませんが、今後出てくるかもしれません。	
19	男性	6～11歳	知的	・障がい者を長期的に支援する人がいない。 ・手帳を受け取る際、受けられるサービス等の説明を求めたところ、「うちで発行しているものではないので」と言われた。何のために受け取りを自治体窓口に行っているのか。また、学校を通して特別支援教育就学奨励費をなぜ頂けないのか伺ったところ、清里は全ての子に手厚くしているから、という回答だった。一般の子より文房具を頻繁に壊してしまったり、一般の子に使わないものが必要だったり、その差を埋めるものが奨励費だと思います。近年清里でも発達障がい児が増えているように思えるので、現状を正しく知ってほしいと願います。	
20	女性	70歳以上	身体	今のところはまだ。でもいつどうなるかわかりません。その時はよろしくお願いします。	
21	男性	15～17歳	知的	今高3の息子が自閉症です。本人障がいがあることは知っていますが、はっきり「自閉症」だとは言っていないのと、障がいに対してどう向き合うか自己理解をどう進めていくかの最中で、難しい年齢のため、アンケートの内容がまさに障がいと向き合う内容で、本人も「手帳を持っている人へのアンケートなのだけど書く？」と聞いたら、「書かない」という事だったので、母が書きました。データとしては弱いかもしれませんが。本人達はどのようなサービスがあるか知らない状況です。オホーツクは特に遅れていますが、地域によりかなり格差がある状態です。就労についても、できれば一般就労させたいのですが、受け入れ先があるか…。清里町は生まれてから→学校→就職、この支援がぶつぶつ切れます。困った時にこの人に相談しに行こう、という人材がないことも弱いと思います。自分達で解決できなくても、相談(あくまで町で)→繋ぐ(町で)→必要なサービス(町外でも)を受けられる必要があると思います。	
22	男性	0～5歳	身体	障がい福祉サービス、障がいのある子にできること、やれること、出せること。まだまだ窓口が小さい。町全体で情報共有をしていくなどの対策をしてほしいです。障がいがある子ども、親は敏感なので、そういう子専門の遊べる所、子ども達がふれ合える所、親の交流が安心してできる所が1箇所でもあるとよいと思います。	